

電子の力でサビを抑制 ラストストッパー

～その後の経過報告～

㊤ ツーフィット

〒231-0033 神奈川県横浜市中区長者町5-75-1

☎045-253-7945 FAX045-242-8373

<http://www.to-fit.co.jp/>

今年の春(135号)、古いクルマや寒冷地のクルマ乗りの間で流行しているという電子防錆装置「ラストストッパー(ツーフィット製)」を330セドリックに装着したのを皆さん覚えているだろうか。

旧車の場合、塗装面の傷はもちろんのこと、ピンホールから水分が鉄板に付着(雨だけでなく空気中にも水分はある)し、それが乾燥しないことでサビが塗装面の下で広がり、気づいたときには手遅れということも少なくない。

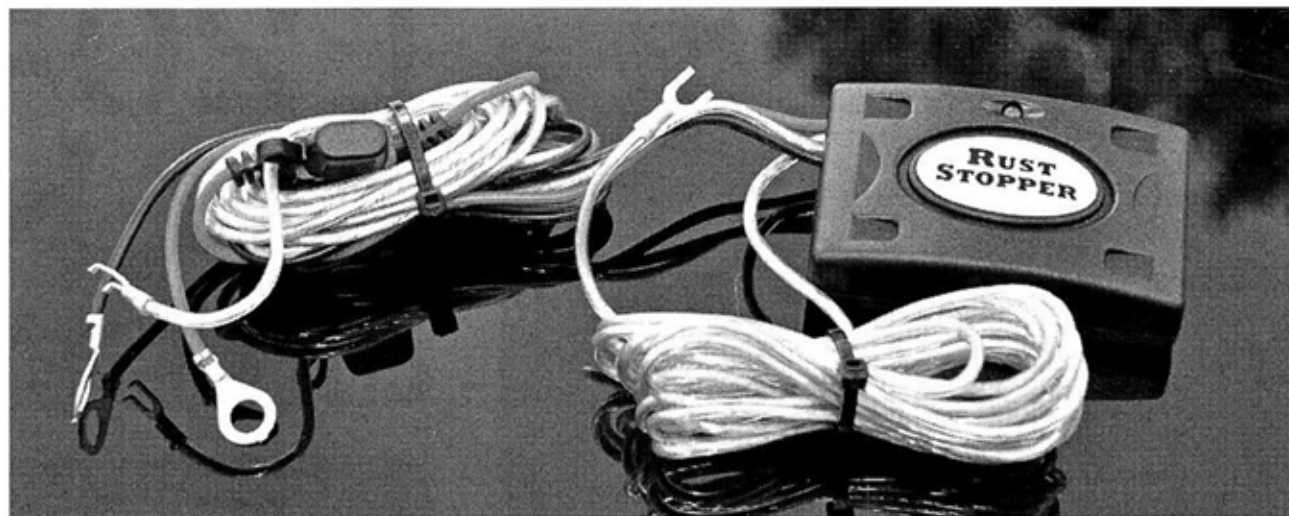
ラストストッパーはそれを化学的に防錆しようという電子機器。車載のバッテリーからボディに電子を供給し、ボディが酸化鉄に戻ろうとするのを抑制するものと考えればいい。

取り付けも非常に簡単だった。電源供給はバッテリーの端子から。後はボディにパルスカレントディスチャージワイヤー(クリアの被覆線)を接続するだけだ。

なお、消費電力は3~12mAで車載の時計と同じくらい少ない。シャーシ継ぎ目の塗装のヒビ、ジャッキアップ後の塗装はがれから来るサビにも有効とのことで、あれから半年……。

実は、一部分だけ故意に塗装をはがしておいたのだ。その部分を見てみると、なんとサビひとつない! 日々使用しているものの、露天駐車だし手入れもそんなにしていないが、これはどういうことか。やはりラストストッパーを装着していたから、と考えるのが自然だろう。

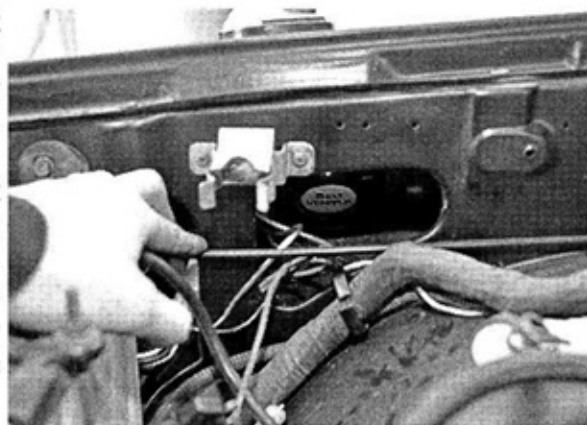
同じような経験者はいないかと、さまざまな買い物を楽しめるインターネットサイト「楽天市場」を見てみると、不特定多数のユーザーが自分で買ったラストストッパーを「サビの進行が遅くなった」と推す。これすなわちサビ防止に効果が高いという裏付にほかならない。



■取り付けは至極簡単

●ラストストッパー本体の電源はバッテリーターミナルから。後は説明書に従って、パルスカレントディスチャージワイヤーを金属部へ接続するだけだ。

●本体には通電状態を表すLEDランプ付き。また、ラストストッパーは、バッテリーの電圧が下がったとき、自動的にスイッチをオフにしてバッテリー上がりを防ぐ保護機能も有す。



●20年以上発売されている人気商品「ラストストッパー」。写真のモデルは電子を送るワイヤーが2本となり、防錆能力の高いヘビーデューティタイプ(価格2万7000円以下税別)。ワイヤーが1本のレギュラータイプ(価格2万2000円)、軽自動車やリッターカー用(1万7000円)もある。



■サビ出ない!?

●ラストストッパー取り付けにあたって、ボンネットのバッジ取り付け穴部の塗料を剥いておいた。テスト条件は露天駐車して市販のガラスコートをととき施工するのみ。にもかかわらず、サビはまったく出ていない! ラストストッパーの効果だろう。板金塗装をする費用を考えるとはるかに費用対効果がある。